

# 令和5年度第1回さいたま市図書館協議会

日時：令和5年8月4日（金）

10時00分～

会場：さいたま市立中央図書館

イベントルーム

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議題及び報告事項

- (1) 令和4年度事業報告について
- (2) 令和5年度（令和4年度事業対象）図書館評価について
- (3) 令和5年度の事業計画について

### 3 その他

### 4 閉 会

#### <配布資料>

- (1) 図書館協議会委員名簿 . . . (資料No.1)
- (2) 令和5年度さいたま市図書館名簿 . . . (資料No.2)
- (3) さいたま市図書館協議会 座席表 . . . (資料No.3)
- (4) 令和5年度さいたま市図書館要覧

#### <事前送付済み資料>

- (1) 令和5年度（令和4年度事業対象）図書館評価について
- (2) さいたま市図書館協議会通勤手当等申告書

## さいたま市図書館協議会委員名簿

	氏名	備考
1	大井 睦	元大学非常勤講師
2	川田 倫世	さいたま市PTA協議会常任理事
3	長束 明美	音訳グループ木曜会元代表
4	加藤 路子	さいたま市よい本を読む運動推進員
5	関根 規雄	さいたま市私立幼稚園協会理事
6	馬場 範明	全国歴史研究会常任理事
7	石川 敬史	大学准教授
8	二宮 奈緒美	浦和子どもの本連絡会書記・元世話人代表
9	石井 正	公募委員
10	原 修	公募委員
11	星野 宏充	公募委員
12	森 裕子	さいたま市立小学校校長会
13	安藤 幸子	さいたま市立中学校校長会

敬称略

館名	拠点図書館名	地区図書館及び分館名	図書館長	電話番号	所在地
中央図書館			杉本 達洋	871-2100	〒330-0055 浦和区東高砂町11-1
		副館長	内田 浩史	871-2100	
	管理課	課長	宮野 充	871-2172	
	資料サービス課	課長	中島 孝一	871-2173	
北浦和図書館			大橋 義武	832-2321	〒330-0074 浦和区北浦和1-4-2
東浦和図書館			望月 和幸	875-9977	〒336-0932 緑区中尾1440-8
	美園図書館			764-9610	〒336-0967 緑区美園4-19-1
大宮図書館			馬淵 忠秀	643-3701	〒330-0843 大宮区吉敷町1-124-1
大宮西部図書館			大木 隆志	664-4946	〒331-0825 北区榑引町2-499-1
	桜木図書館			649-5871	〒330-0854 大宮区桜木町1-10-18
	大宮西部図書館 三橋分館			625-4319	〒331-0052 西区三橋6-642-4
	馬宮図書館			625-8831	〒331-0061 西区西遊馬533-1
春野図書館			長谷川 清	687-8301	〒337-0002 見沼区春野2-12-1
	大宮東図書館			688-1434	〒337-0052 見沼区堀崎町48-1
	七里図書館		古川 微智	682-3248	〒337-0014 見沼区大谷1210
	片柳図書館			682-1222	〒337-0026 見沼区染谷3-147-1
与野図書館			石井 春祥	853-7816	〒338-0002 中央区下落合5-11-11
	与野図書館 西分館			854-8636	〒338-0005 中央区桜丘2-6-28
	与野南図書館			855-3735	〒338-0012 中央区大戸6-28-16
岩槻図書館			村山 早苗	757-2523	〒339-0057 岩槻区本町4-2-25
	岩槻東部図書館			756-6665	〒339-0005 岩槻区東岩槻6-6
	岩槻駅東口図書館		奥村 英敏	758-3200	〒339-0057 岩槻区本町3-1-1
桜図書館			熊木 元巳	858-9090	〒338-0835 桜区道場4-3-1
	桜図書館 大久保東分館			853-7100	〒338-0826 桜区大久保領家131-6
北図書館			玉木 浩太郎	669-6111	〒331-0812 北区宮原町1-852-1
	宮原図書館			662-5401	〒331-0811 北区吉野町2-195-1
武蔵浦和図書館			藤村 雅之	844-7210	〒336-0021 南区別所7-20-1
	南浦和図書館			862-8568	〒336-0024 南区根岸1-7-1

## さいたま市図書館協議会 座席表

令和5年8月4日 10時00分～  
さいたま市立中央図書館 イベントルーム

川田 倫世 委員	馬場 範明 委員長	大井 睦 副委員長
石井 正 委員		石川 敬史 委員
		二宮 奈緒美 委員
星野 宏充 委員		加藤 路子 委員

大橋 義武 (北浦和 館長)	長谷川 清 (春野 館長)	中島 孝一 (資料サービス課長)	杉本 達洋 (中央 館長)	宮野 充 (管理課長)	村山 早苗 (岩槻 館長)
石井 春祥 (与野 館長)	熊木 元巳 (桜 館長)	玉木 浩太郎 (北 館長)	馬淵 忠秀 (大宮 館長)	大木 隆志 (大宮西部 館長)	望月 和幸 (東浦和 館長)
藤村 雅之 (武蔵浦和 館長)		事務局		事務局	
事務局	記者席	傍聴席			

令和5年7月21日

さいたま市図書館協議会  
協議会委員 様

図書館評価専門部会

令和5年度（令和4年度事業対象）図書館評価について

令和5年度第1回図書館協議会において報告をさせていただき予定の標記の事項について、下記のとおり御送付いたします。

記

- 1 報告事項 令和5年度（令和4年度事業対象）図書館評価票
- 2 報告資料 「さいたま市図書館評価票（令和4年度）」（同封）
- 3 説明資料 「さいたま市図書館評価（令和4年度事業対象）について」（同封）を御覧ください。
- 4 その他の同封資料  
参考資料1 「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」  
参考資料2 「令和5年度 図書館評価結果（令和4年度事業対象）」

担 当：図書館評価専門部会

春野図書館 長谷川（部会長）

北浦和図書館 大 橋（副部会長）

連絡先：中央図書館 平 間（事務局）

電話 871-2100（代表）

FAX 884-5500

E-mail chuo-lib-shiryo@city.saitama.lg.jp

## さいたま市図書館評価（令和4年度事業対象）について

さいたま市図書館では、令和4年度の事業を対象とするさいたま市図書館の運営状況に関する評価を行うため、点検作業を行い、別紙「さいたま市図書館評価票（令和4年度事業対象）」に評価案をまとめました。令和5年度第1回図書館協議会において御意見をいただきたく、事前にお送りいたします。

下記には評価票の見方などについて御案内しておりますとともに、今後の予定も示しております。第1回図書館協議会までにお目を通していただきますようお願いいたします。

### 記

- さいたま市図書館評価は、「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」（参考資料1）に基づいて実施しております。
- 別紙「さいたま市図書館評価票（令和4年度事業対象）」は、評価にあたって設定した「目標」ごとに17に分かれています。
- 「さいたま市図書館ビジョン（第2期）実施計画 前期」に基づき、令和3年度～7年度までの「目標」ごとの「指標」及び「目標値」を定めています。
- 「取組の方向性」には、「さいたま市図書館ビジョン（第2期）実施計画 前期」から今後の取組みの方向性を記載しております。
- 令和4年度の実績について、目標値に対する達成状況を参考資料1の別表第2に従ってA～Dの4段階で「目標別評価」を行っております。
- 評価ごとの割合については「令和5年度 図書館評価結果（令和4年度事業対象）」（参考資料2）をご覧ください。
- 令和4年度の実績は、集計された統計数値や活動報告などにより、図書館評価専門部会が点検したものです。
- 工事等の理由で一部の図書館が長期休館となった場合でも、令和3年度～7年度の目標値について補正は行いません。必要に応じて評価票の中で状況を記述していきます。



さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	1. 知りたいにこたえる
目標	(1) レファレンスサービスの充実による市民の課題解決の支援
取組の方向性	<p>レファレンスについては、オンラインデータベースを活用し最新の情報を提供します。寄せられた質問のうち、さいたま市に関する事例や過去に登録がない事例については、「レファレンス協同データベース」で公開し、同様の質問について市民が参照できるようにします。レファレンスツールの紹介やデータベース講習会の開催など、市民が求める情報を自分で探し出せるようにサポートするとともに、レファレンスサービスの周知を行い、市民が気軽に質問しやすい環境を作ります。さらに、専門的な情報が必要な場合は、博物館や専門図書館等の専門機関に取次ぐサービスを行います。</p> <p>これらの取組により市民の知る権利を保証し、課題解決を支援して、市民の知りたいにこたえます。</p>

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
レファレンス受付件数	目標値	128,000件	130,000件	132,000件	134,000件	136,000件
	実績値	85,315件	81,065件			
	達成率	66%	62%			
	目標別評価	C	C			

<p>評価の説明</p> <p>「レファレンス受付件数」は、81,065件で目標である130,000件を下回りC評価となりました。近年のICTの発達は目覚ましく、スマートフォンの普及により、インターネット利用の利便性が向上し、利用者自身が気軽に調べものができる環境となってきたことも、受付件数が減少した一因と考えられます。一方、対面せずにレファレンスを申し込むことができるメールレファレンスについては、令和2年度が97件、令和3年度が122件、令和4年度が152件と受付件数が毎年増加しています。利用者に回答したレファレンス記録を国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に新規に155件登録し、さいたま市図書館のレファレンスとして多くの人がインターネットで参照できるようにしました。</p> <p>また、さいたま市図書館ホームページの「レファレンス・パスファインダー」のコンテンツ内にある「テーマ別パスファインダー一覧」では、各図書館が作成したSDGsに関するパスファインダーを新たに閲覧できるようにしました。ほかにも「館別パスファインダー一覧」では各館ごとに独自で作成したパスファインダーが閲覧できます。北図書館では「レファレンス便り」を発行し、利用者がもっとレファレンスに親しみを持ってもらえるよう取組んでいます。</p>
---



さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	1. 知りたいにこたえる
目標	(2) 市民の課題解決に役立てられる資料の提供
<p>取組の方向性</p> <p>医療、法律、ビジネス、子育て、福祉など、市民生活に役立つ資料を、目的に応じて探しやすいするための工夫を行います。また、いつでも、どこでも、誰もが利用できる電子書籍の提供や図書館ホームページを利用して、自身の読書記録を残せるようにするなど、ICTの活用を進めます。図書館の利用に関するアンケートをもとに、さらに役立つ資料の提供に努めます。</p> <p>これらの取組を通して、市民の生活・仕事に関する課題や、地域の課題解決に向けた活動を支援します。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
知識の獲得に対する図書館資料の貢献度	目標値	3.81ポイント	3.83ポイント	3.85ポイント	3.87ポイント	3.89ポイント
	実績値	3.90ポイント	3.87ポイント			
	達成率	102%	101%			
課題解決に対する図書館資料の貢献度	目標値	3.57ポイント	3.59ポイント	3.61ポイント	3.63ポイント	3.65ポイント
	実績値	3.65ポイント	3.63ポイント			
	達成率	102%	101%			
新しいチャレンジに対する図書館資料の貢献度	目標値	3.65ポイント	3.67ポイント	3.69ポイント	3.71ポイント	3.73ポイント
	実績値	3.71ポイント	3.67ポイント			
	達成率	101%	100%			
個人的な楽しみに対する図書館資料の貢献度	目標値	3.86ポイント	3.88ポイント	3.90ポイント	3.92ポイント	3.94ポイント
	実績値	3.91ポイント	3.89ポイント			
	達成率	101%	100%			
目標別評価		A	A			

<p>評価の説明</p> <p>図書館資料の貢献度とは令和4年9月に図書館来館者に実施した「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」において、図書館資料がどのように役立っているかを質問し、その回答をポイント化したものです。4つの指標すべてが目標値を上回り、A評価となりました。</p> <p>各図書館の選書担当者が集まる一般書選定会議と児童書選定会議を毎週実施し、社会情勢の変化や利用者のニーズの多様化に対応し、市民生活に役立つ資料の収集に努めました。</p> <p>また、大宮図書館では学生の利用が多いため、ヤングアダルトコーナーに受験・就職に関する資料等を収集するほかに県内・都内の大学等からパンフレットを集めて学生の進路に役立つ資料を提供する「進路・受験対策コーナー」を設けました。岩槻図書館では、区内の書店や施設で出されたパンフレット等を収集し利用者が閲覧できるようにして情報発信に努めました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	1. 知りたいにこたえる
目標	(3) 図書館利用に障害のある方への支援
<p>取組の方向性</p> <p>図書館が提供するサービス内容について、必要な方に必要な情報が届くようにPRを行います。また、図書館利用に障害のある方へ向けて、常に新しい技術の活用を検討し、それぞれの必要に応じた資料を提供します。さらに、医療施設や福祉施設等にも、図書館の本を届ける方法を検討していきます。</p> <p>これらの取組により、乳幼児から高齢者、外国人など、全ての方に対して、その方が必要とする図書館サービスを提供します。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
バリアフリー資料の所蔵数 (録音図書、点字図書、 点訳絵本、大活字本、 朗読CD、LLブック)	目標値	24,000点	24,400点	24,800点	25,200点	25,600点
	実績値	23,777点	23,585点			
	達成率	99%	96%			
	目標別評価	B	B			

<p>評価の説明</p> <p>「バリアフリー資料の所蔵数」は、23,585点で目標値の24,400点を下回りB評価となりました。その中でも、やさしく読みやすい文章で表現したり、絵や写真を使ってわかりやすくした本であるLLブックの収集に努め、令和3年度の61点から令和4年度は89点に増えました。デージー図書も、令和3年度の1,301タイトルから令和4年度は1,336タイトルに増えました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたので、対面朗読の回数が令和3年度の24回から令和4年度は46回と約2倍になり徐々に利用が戻ってきました。</p> <p>また、除籍をした図書館資料や寄贈で受入れしなかった本を施設に提供する「市内公共公益施設向け除籍資料頒布会」を令和4年度も実施し、市内の福祉施設など34団体に約1,650冊のリサイクル資料を提供しました。</p> <p>大宮図書館では、近隣に日本語学校があることから200冊以上の外国語資料を受入れました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	1. 知りたいにこたえる
目標	(4) 専門的職員の養成による図書館サービスの質の向上
<p>取組の方向性</p> <p>図書館に関する専門知識を有した職員を配置し、図書館サービスの質を向上させます。配置した後も、職員の熟練度を踏まえて計画的に育成し、その専門性を高めます。さらに、外部組織が実施する研修に対しては積極的に職員を派遣することで、より広範な専門知識の獲得に努めます。</p> <p>これらの取組により、市民の高度で多様な要望にこたえられる専門的な職員を養成します。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
図書館専門研修の実施・派遣回数	目標値	305回	310回	315回	320回	325回
	実績値	374回	367回			
	達成率	122%	118%			
	目標別評価	A	A			

<p>評価の説明</p> <p>令和3年度に引き続き、オンライン研修やeラーニングによる研修が数多く実施されたこと、また自館でのOJTが64件から98件と大幅に増えたことなどが影響し、目標値を大きく上回りました。</p> <p>中央図書館では、拠点図書館職員を対象に「レファレンス研修」「官報講習会」等の研修を実施しました。</p> <p>拠点図書館では、「地域資料研修 地図編」「ゆかりの作家研修（太宰治の大宮）」等、地域に根ざした図書館として独自の研修を数多く実施しました。</p> <p>また外部組織が実施する研修については、文部科学省と国立教育政策研究所社会教育実践研修センター共催の「図書館司書専門講座」、日本図書館協会と福井県図書館協会共催の「全国公共図書館研究集会」、国立国会図書館国際子ども図書館主催の「児童文学連続講座」、埼玉県図書館協会主催の「多文化サービススタート講座」「ビジネス・ライブラリアン研修」等、図書館職員としての専門知識を深める研修に参加し、職員の資質・能力を高めました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	1. 知りたいにこたえる
目標	(5) 図書館評価と市民意識の反映
<p>取組の方向性</p> <p>図書館の実施するサービスが適切であるか、図書館評価を行い、公表します。図書館の利用に関するアンケートを実施し、また、図書館協議会を開催して、市民の声にこたえ、必要な改善を行います。</p> <p>指定管理者や窓口業務の委託業者が行う業務については、市が定めた基準に従って評価し、市民にサービスが適切に提供されているかを管理します。</p> <p>これらの取組により、図書館機能をより充実させます。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者満足度	目標値	91.5%	91.5%	92.0%	92.5%	93.0%
	実績値	92.5%	92.0%			
	達成率	101%	100%			
	目標別評価	A	A			

<p>評価の説明</p> <p>「利用者満足度」は「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の設問で、図書館の施設・設備について、案内表示のわかりやすさ、目的の本や雑誌・CD等の探しやすさ、職員の対応や説明、予約・リクエストサービスについての5つの項目における満足度を評価の対象としています。</p> <p>これらの項目で、「満足」と「やや満足」を合わせた割合を評価した結果、目標値を上回る92.0%となりました。</p> <p>アンケート結果は、座席の配置の調整や書架の増設、案内表示の見直し、また資料を選定する際の参考にするなど、より充実した図書館サービスを提供するための環境づくりに反映させました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	2. 本と人をつなげる
目標	(1) 市民の多様な要求にこたえる資料の充実
<p>取組の方向性</p> <p>「さいたま市図書館資料取扱要領」に基づき、市民の課題解決・調査研究・文化・教養・レクリエーション等に資する資料を幅広く収集します。魅力ある新鮮な書架を保つため、各図書館で毎年収集を強化する分野、買い直しを進める分野など収集方針を定め、計画的な資料の収集に努めます。</p> <p>また、様々な言語や文化に対する相互理解を深めるために、外国語資料の収集に努めます。日本語以外を母語とする市民に対しても、それぞれの必要に応じた資料を提供します。</p> <p>この積み重ねにより、高度化、多様化する市民の要求に的確にこたえられる資料を用意します。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
蔵書新鮮度	目標値	3.32%	3.34%	3.36%	3.38%	3.40%
	実績値	2.59%	2.66%			
	達成率	78%	79%			
	目標別評価	C	C			

<p>評価の説明</p> <p>「蔵書新鮮度」とは、年間受入冊数を全蔵書数で割った値であり、どの程度の割合で蔵書が更新されたかを測る指標です。令和4年度の実績値は2.66%となり、達成率は79%にとどまりました。</p> <p>蔵書新鮮度に係る図書購入費が令和3年度以降は大幅に削減されており、令和4年度も令和2年度以前の予算規模に回復しなかったことも、目標値に届かなかった一因と考えられます。</p> <p>そのような状況ではありますが、図書館として市民が知りたい情報の提供を継続していくために、令和4年度は市民からいただいた寄贈本の受入れを20,300冊以上行い、有効活用するとともに、図書館の利用に関するアンケートの結果を資料選定の際に参考にするなどして、幅広い資料の収集に努めています。</p>
---

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	2. 本と人をつなげる
目標	(2) 情報発信による図書館利用の促進
<p>取組の方向性</p> <p>ICT（情報通信技術）を活用して図書館の最新情報や来館しなくても楽しめるコンテンツ等を発信し、図書館利用を促進します。図書館を利用したことのない人にもサービスの内容を知らせるよう、記者発表を活用する等、PRを強化します。「さいたま来ぶらり通信」をはじめ、図書館の情報を発信する印刷物を作成し配布します。</p> <p>こうした情報発信に努めることで、新規利用者を増やし、利用層を広げて、図書館利用の促進につなげます。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸出総数	目標値	9,798,000点	9,834,000点	9,871,000点	9,908,000点	9,945,000点
	実績値	9,771,683点	9,278,202点			
	達成率	99%	94%			
	目標別評価	B	B			

<p>評価の説明</p> <p>令和4年度のさいたま市図書館全体の個人貸出総数は9,278,202点となり、目標値には届きませんでした。令和3年度と比べても493,000点余り減少しています。これまでコロナ禍のなか、読書など家庭でできることを行っていた人たちが、感染状況が落ち着き、レクリエーション等での外出の機会が増えたこともあり、貸出人数が減り、貸出点数が落ち込んだと考えられます。</p> <p>また、図書館のパブリシティ（PR）として記者発表を46件行ったところ、さいたま市図書館に関連する報道が新聞やテレビなどで39件されました。さらに、ホームページコンテンツやSNSなどを利用した展示会やイベントの告知・記録の掲載を多数行い、図書館利用の促進に努めました。</p>
--

## さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	2. 本と人とをつなげる
目標	(3) 講座等の催しと市民の交流の場の提供
取組の方向性	
<p>地域の環境や社会情勢のニーズを踏まえ、あらゆる世代に向けた事業を企画・開催し、市民の文化活動や読書活動を支援します。講座等の開催時にアンケートを実施し、市民のアイデアを活かした関心の高い事業を行います。また、図書館の効果的な利用方法の講習やオンライン講座等を開催し、市民の情報リテラシーの向上を図ります。</p> <p>こうした様々な事業の開催を通して、市民の学びのきっかけをつくり、交流の場を提供します。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
講座等の満足度	目標値	89.0%	89.5%	91.0%	91.5%	92.0%
	実績値	95.7%	96.1%			
	達成率	107%	107%			
	目標別評価	A	A			

## 評価の説明

「講座等の満足度」は、令和4年度に実施した講座等の参加者のうちアンケートに記入いただいた計1,382人の回答を評価の対象としています。このなかで、「満足」と「やや満足」を合わせた割合を評価しました。その結果、令和4年度の「講座等の満足度」は96.1%となり、令和3年度に引き続き目標値を大幅に上回りました。また、アンケートに記入いただいた人数も令和3年度の559人から大幅に増加しております。

さらに、東浦和図書館の「浦和博物館・東浦和図書館連携講座『鳳翔閣とさいたまの教育』」、大宮図書館の「知りたい！造幣のこと ～造幣博物館連携イベント～」、春野図書館の「見沼区学講座『見沼の絵馬』」や「見沼区学講座『鎌倉殿と見沼区』」などの講座は、いずれも他機関との連携により実現したものであり、高い「講座等の満足度」の達成のみならず、さいたま市の魅力を広く市民に発信することができました。

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	2. 本と人をつなげる
目標	(4) 資料の紹介による本との出会いの創出
<p>取組の方向性</p> <p>読書の楽しみを広く伝え、未知な分野への関心を高めるため、市民と本との新たな出会いを演出する取組を実施します。テーマ資料展示や事業にあわせてブックリストを作成し、図書館の分類にとらわれない資料の紹介を行います。ビブリオバトル等の市民相互による資料の紹介を推進します。SDGsについては、あらゆる分野の図書を利用してテーマに沿った資料展示を行い、水先案内となるブックリストの提供を行う等、市民に課題と目標を周知していきます。</p> <p>これらの取組により、市民とまだ見ぬ本との出会いを創出し、知的世界を広げる手助けをします。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
テーマ資料展示の実施回数	目標値	930回	935回	940回	945回	950回
	実績値	825回	817回			
	達成率	88%	87%			
	目標別評価	B	B			

<p>評価の説明</p> <p>令和4年度の「テーマ資料展示の実施回数」は817回であり、令和3年度の実績値および令和4年度の目標値をともに下回るとともに、達成率も87%にとどまりました。</p> <p>なお、令和4年度は多くの図書館でSDGsに関連したテーマ資料展示を生涯学習振興課との連携により実施しました。これにより、資料を通じて市民にSDGsの重要性を理解いただき実現のための意識向上を喚起するとともに、様々な種類の資料を網羅的に展示および紹介する機会を創出することができました。</p> <p>他にも、大宮図書館の「世界アルツハイマーデー」（連携先：大宮区高齢介護課）、与野図書館の計3回の防災に関する展示（下落合公民館）、春野図書館の「人権問題パネル展」（人権教育推進室）、武蔵浦和図書館の「11月8日は『いい歯の日』」（南区保健センター）など、他機関と連携することで魅力的なテーマ資料展示を実施できた事例が数多くありました。</p> <p>また、中央図書館主催「資料展示研修」を実施しました。</p>
---



さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	2. 本と人をつなげる
目標	(5)安全で快適な環境の整備
取組の方向性	
<p>誰もが安全で快適に使える施設を維持するため、「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画【第2期】」に基づき、施設の改修を行います。防災訓練や情報セキュリティ研修を実施することで、災害や事件・事故に対して適切な行動をとり、被害を最小限に抑えます。全世界で流行した新型コロナウイルス感染症のような、前例のない緊急事態に対しても、市民の安全を最優先とした対応を迅速に図った上で、提供可能なサービスについて探り、図書館の役割を果たします。また、知のセーフティネットとして市民の情報収集ツールである、インターネット閲覧端末を設置するとともに、Wi-Fi環境を提供します。</p> <p>これらの取組により、図書館での安全で快適な環境を提供します。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
防災・消防訓練の実施回数	目標値	38回	41回	44回	47回	50回
	実績値	57回	46回			
	達成率	150%	112%			
	目標別評価	A	A			

<p>評価の説明</p> <p>令和3年度の実施回数57回に比べ、令和4年度の実施回数は減っているものの目標値は達成しています。46回の内容として、いずれの図書館も最低一回は防災訓練、もしくは、消防訓練を実施しており、その他にAED講習会を実施しました。春野図書館が大宮東警察署の協力を得て、不審者対応研修を2ターム行いました。春野図書館を会場に各図書館から職員が参加して、灯油や刃物を持った来館者への対応を習得しました。災害時等に安全を確保できるよう、積極的に取り組む姿勢が受け取れます。</p> <p>また、図書館内での新型コロナウイルス感染症対策が緩和された際には、閉鎖していたスペースを開放して来館者が利用できるスペースを広げる一方で、職員やスタッフはマスクの着用等を継続しました。その結果、安全で快適な環境を利用者に提供できたと考えられます。</p>
--

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	3. 子どもの豊かな心と生きる力をはぐくむ
目標	(1) 子どもの世界をひろげる資料の紹介
取組の方向性	<p>子どもの知的好奇心にこたえるとともに、子どもに読書の楽しみを伝えていきます。各館で行うテーマ資料展示や、「冬の読書キャンペーン」の実施等を通して、おすすめする児童書のブックリストを作成、配布し、子どもが読書に関心を持つきっかけを様々な角度から提供します。また、より質の高い児童サービスを提供するために、内部研修の開催や外部研修への派遣により、児童サービス担当職員を養成します。</p> <p>これらの取組により、子どもの世界をひろげる資料の紹介をします。</p>

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子ども向けブックリストの作成数	目標値	48点	49点	50点	51点	52点
	実績値	60点	71点			
	達成率	125%	144%			
	目標別評価	A	A			

<p>評価の説明</p> <p>「子ども向けブックリストの作成数」の目標値が49点であるのに対して実績値は71点となり目標値を上回りました。</p> <p>令和3年度と同様に、乳幼児、小学生、中学生、高校生、保護者といったあらゆる世代に対するブックリストを作成するだけでなく、ボランティアの方が読み聞かせをするためのブックリストを作成しています。これは、民間団体が子どもの知的好奇心にこたえるための手助けに繋がり、評価できます。</p> <p>その他、北浦和図書館などでSDGsをテーマとしたブックリストを作成しており、北図書館では複合施設内で開催される原爆絵画展に合わせた平和図書のブックリストを作成しています。世の中で話題になっていることを、子どもにも気軽に興味を持って触れてもらえるように工夫をしていることが分かります。</p> <p>目標値を上回っているだけでなく、ブックリストの内容も非常に充実したものとなりました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	3. 子どもの豊かな心と生きる力をはぐくむ
目標	(2) 子どもが本に親しむ機会の提供
<p>取組の方向性</p> <p>図書館や本に親しみを持ってもらうために、各図書館で子ども向けの催しを実施します。また、中学生や高校生の図書館利用を促進するために、図書館ボランティア体験や中学生・高校生向けの催し等を実施します。特に、おすすめの本の魅力を紹介し合うビブリオバトルについては、今後さらに力を入れて実施します。また、ICTを活用して、本に親しむ機会を増やしていきます。</p> <p>これらの取組により、子どもが本に親しむ機会を提供します。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
おはなし会の開催回数	目標値	1,090回	1,100回	1,110回	1,120回	1,130回
	実績値	784回	933回			
	達成率	71%	84%			
	目標別評価	C	B			

<p>評価の説明</p> <p>「おはなし会の開催回数」は目標値を下回る結果となりました。令和4年度までは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、さいたま市図書館における子どもの読書活動に係るイベント開催の注意事項として、「全て申込制で実施」してきました。事前申込みは参加のハードルが高いうえ、当日の参加者がゼロのため、準備をしていた会が中止になることもありました。それでも今まで開催を見合わせていた館で再開したこともあり、令和3年度より149回多く開催することができました。</p> <p>中学生・高校生向けの取組としては、毎年好評な事業である図書館ボランティア「さいたま・ライブラリー・サポーターズ」を継続実施し、市立高校生との交換展示を行うなど、子どもが本に親しむ機会を提供しました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	3. 子どもの豊かな心と生きる力をはぐくむ
目標	(3)家庭・学校等との連携による子どもの読書活動への支援
取組の方向性	
<p>「さいたま市子ども読書活動推進計画（第四次）」に基づき、図書館が主体となり家庭・地域・学校と連携して、子どもが読書の楽しさや大切さを知ることができるような環境を作り、子どもが読書を好きになる取組を推進します。新たに創設した「さいたま市子ども読書の日」を、様々な機関と連携して普及啓発するとともに、子どもの読書活動を推進します。</p> <p>このような家庭・学校等との連携により、読書が好きな子どもを増やします。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
読書が好きな子どもの割合 (小学生)	目標値	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%
	実績値	80.9%	80.7%			
	達成率	99%	98%			
読書が好きな子どもの割合 (中学生)	目標値	71.8%	73.0%	74.0%	75.0%	76.0%
	実績値	72.3%	71.9%			
	達成率	100%	98%			
読書が好きな子どもの割合 (高校生)	目標値	81.8%	82.6%	83.4%	84.2%	85.0%
	実績値	79.9%	74.2%			
	達成率	97%	89%			
	目標別評価	B	B			

<p>評価の説明</p> <p>「読書が好きな子どもの割合」は、小学生、中学生、高校生とも目標値に届きませんでした。</p> <p>コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、夏休みには、一周年を迎えた「さいたま市子ども読書の日」を普及啓発するためキャンペーンを開催し、各種イベントを実施するとともに、来館者におすすめの本を記入してもらい、旗のようにつるす「ブックガーランド」の催しを令和3年度に引き続き、全館で実施しました。</p> <p>また、「冬の読書キャンペーン」を開催し、「図書館のウラガワたんけんツアー」や「お仕事体験」、図書館や子どもの本に関するミッションに挑戦する「としょ丸からの挑戦状」など、工夫を凝らした事業を実施するとともに、令和4年度からの取組として、キャンペーン期間中に、子どもの読書活動に優れた実践を行っている市内の団体、学校、保育所・幼稚園、公民館等を対象として表彰を行い、取組の奨励を図りました。</p> <p>その他にも、市立高校3校、中等教育学校1校の生徒がおすすめ本のPOPを作成し、投票によって優秀作品を決める「市立高校POPバトル」や知的書評合戦「ビブリオバトル」、高校生と図書館員のおすすめ本の交換展示を行うなど、それぞれの世代に向けた取組を続けています。</p>
--

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	4. つながりから地域の未来をひらく
目標	(1) 地域の歴史と文化の保存
<p>取組の方向性</p> <p>地域・行政資料を「さいたま市図書館地域資料収集方針」及び「さいたま市図書館資料収集・保存分担基準」に基づき、収集・保存します。また、さいたま市ゆかりの文学者等の資料を収集し、その功績を伝えます。さらに、地域資料担当者会議を開催して所蔵館の調整や資料の交換を行い、地域・行政資料を有効に活用できるようにします。</p> <p>このような収集・保存活動により、地域の歴史や文化・伝統を100年先の未来に伝えていきます。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域・行政資料の蔵書数	目標値	163,200冊	167,000冊	170,700冊	174,200冊	177,500冊
	実績値	160,213冊	161,425冊			
	達成率	98%	96%			
	目標別評価	B	B			

<p>評価の説明</p> <p>「地域・行政資料の蔵書数」は目標値には届きませんでした。令和3年度より1,212冊増加しました。地域資料の効果的な収集・保存のため、地域資料交換会を年3回行い、各図書館で所蔵している地域資料の配置替え等を980冊以上行いました。</p> <p>市誕生20周年を契機に制定された「さいたま市民の日」（5月1日）には全館で地域の魅力を発信する様々な展示を実施しました。大宮図書館で定期的に行っている大西民子の展示については、さらに5館で巡回展示を行い、図書館ホームページに「大西民子けんてー」を公開しました。</p> <p>さらに、ホームページコンテンツ「地域資料コーナー」内の「中央図書館見沼田んぼコーナー」や「桜図書館桜コーナー」など、地域の「目玉」となる事柄に関する資料を集めたコーナーを紹介するページをリニューアルしました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	4. つながりから地域の未来をひらく
目標	(2) 市民との協働による地域交流の活性化と永続的な交流の場の提供
<p>取組の方向性</p> <p>図書館で活動するボランティアを育成し支援するとともに、ボランティア・地域団体と連携した事業を実施します。また、市民活動を支援し、市民が活躍できる場や機会を提供するとともに、地域での催し物等に参加します。 このような市民との協働により、地域交流の活性化に努めていきます。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ボランティアとの協働事業数	目標値	110事業	114事業	116事業	118事業	120事業
	実績値	62事業	79事業			
	達成率	56%	69%			
	目標別評価	C	C			

<p>評価の説明</p> <p>「ボランティアとの協働事業数」は、目標を下回りました。達成率は69%にとどまりましたが、令和3年度と比較すると17事業増加しました。おはなしボランティアと協働で実施している定例のおはなし会の再開等が事業数の増加につながったと考えられます。</p> <p>図書館友の会の会員によるおすすめ本の展示や、映画上映のボランティアグループによる16ミリ映写機の見学会などボランティアが広い世代の市民と交流できる場を提供しました。</p> <p>また、図書館内での活動だけではなく、桜図書館では桜区区民ふれあいまつりでおはなし会や大人向けの朗読会を行うなど地域での催し物にもボランティア団体が参加し、地域交流の活性化に努めました。</p>
---

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	4. つながりから地域の未来をひらく
目標	(3)市の各部署との連携による市民生活の向上
<p>取組の方向性</p> <p>市民の興味や関心を広げるために、公民館、博物館、美術館等の教育・文化施設と連携した事業を行います。来館しなくても利用できるオンラインコンテンツの公開等、連携の方法についても研究します。また、庁内の行政事務・業務に必要な資料や情報を提供する行政支援サービスを行い、図書館の資料や情報を市の政策立案のために役立てます。さらに、出前講座等の機会をとらえ、他部署との連携事業を実施します。</p> <p>このように、市の各部署や、関連機関と連携・協働を進め、地域の特色を活かしたサービスを行い、市民生活の向上を図ります。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
さいたま市との連携部署数	目標値	28部署	29部署	31部署	33部署	35部署
	実績値	33部署	60部署			
	達成率	117%	206%			
	目標別評価	A	A			

<p>評価の説明</p> <p>「さいたま市との連携部署数」は、目標を大きく上回りました。</p> <p>連携部署数のうち、公民館とは18館と連携事業を行い、公民館でのおはなし会や読書感想文の書き方教室を行ったほか、図書館での出張公民館として椅子ヨガ体験等を実施しました。また、美術館との連携では、美術館の展覧会会場へ出向いての絵本の読み聞かせ会や、美術館職員を講師に招き図書館で「絵本とアートの楽しみ方講座」を実施するなど、お互いの施設を拠点とした連携事業を行いました。</p> <p>さらに春野図書館が中心となって、見沼区役所、文化財保護課、博物館、大砂土東公民館と連携して、見沼区の歴史文化を学び、その魅力を再発見する見沼区生涯学習関連施設等連携講座「見沼区学へのいざない」を開催しました。区内の多くの施設と連携することで市民の地域への興味や関心につながる事業になりました。</p> <p>庁内の行政事務・業務に必要な資料や情報を提供する行政支援サービスはのべ36部署から依頼がありました。資料の貸出しや業務に関連したレファレンスサービスを行い、政策立案に役立てました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（令和4年度）

基本的方向性	4. つながりから地域の未来をひらく
目標	(4) 県・他自治体・民間等との連携による市民の知的活動への支援
<p>取組の方向性</p> <p>市民の調査・研究のために、希少な資料を県内外の図書館等より借用して提供します。ビジネス、法律、医療、健康、福祉及び子育て等、市民の暮らしにかかわる分野について、情報提供に努めるとともに各分野の専門機関との連携・協働を行います。スポーツチーム等との連携・協働・協力により展示コーナーの設置やイベントの開催等を行います。大学生・社会人等のインターンシップ・図書館実習を積極的に受け入れます。また、多様な主体とのネットワークを強化したダイナミックな取組を図書館という働きを通してコーディネートします。</p> <p>このような連携による情報やサービスの提供により、市民の知的活動への支援を行います。</p>	

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
さいたま市以外の自治体及びNPO等民間との連携機関数	目標値	19機関	20機関	22機関	24機関	26機関
	実績値	17機関	33機関			
	達成率	89%	165%			
	目標別評価	B	A			

<p>評価の説明</p> <p>「さいたま市以外の自治体及びNPO等民間との連携機関数」は目標を上回りました。</p> <p>中央図書館と大宮図書館では、創業・ベンチャー支援センター埼玉や日本政策金融公庫と連携し、創業を支援する事業を定期的実施しました。</p> <p>また、大宮図書館では大宮アルディージャの現役選手が来館し、絵本の読み聞かせをする「大宮アルディージャ選手のおはなし会」を実施しました。中央図書館では浦和レッドダイヤモンズと連携し、浦和レッズに関するパネルや「選手・コーチがすすめるこの1冊2022」関連図書の展示を行いました。</p> <p>さらに桜図書館と埼玉大学家庭科教育学研究室が連携した「食育おはなし会」や春野図書館が見沼区北部圏域地域包括支援センターさいたまやすらぎの里や埼玉県福祉部地域包括ケア課と連携した「認知症サポーター養成講座」等、市民の暮らしにかかわる分野への情報提供につながる事業を実施しました。</p>
---



## さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項

### (目的)

第1条 この要項は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3の規定に基づき実施する、さいたま市図書館（以下「図書館」という。）の運営状況に関する評価（以下「評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

### (評価の対象)

第2条 評価は、図書館の運営状況について、毎年度行うものとする。

### (目標、指標及び目標値)

第3条 評価にあたっての目標及び指標は、「さいたま市図書館ビジョン（第2期）実施計画 前期」に基づき、別表第1に定めるとおりとする。

2 各年度の指標の目標値については、「さいたま市図書館ビジョン（第2期）実施計画 前期」に基づき、図書館に設置される図書館評価専門部会が検討し、中央図書館長が定める。

### (評価者)

第4条 評価にあたっては、図書館評価専門部会が、目標の達成状況を点検するとともに、さいたま市図書館協議会の意見を聴取した上で、評価案を作成し、中央図書館長が決定する。

### (評価及び評価の段階)

第5条 目標ごとの各指標の目標値に対して、達成率を算出し、その達成率により当該目標の目標別評価を行う。ただし、複数の指標がある目標については、各指標の達成率の平均により目標別評価を行う。

2 評価の段階は、4段階とし、段階ごとの評価基準は、別表第2に定めるとおりとする。

### (評価票)

第6条 評価の内容及び結果を記録する評価票の様式は、様式第1号に定めるとおりとする。

### (評価結果の公表)

第7条 図書館は、評価の結果をホームページ等を活用して、市民に公表するものとする。

### (評価結果の活用)

第8条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

### (庶務)

第9条 評価に関する庶務は、中央図書館資料サービス課において処理する。

### (委任)

第10条 この要項に定めるもののほか、この要項の施行に関し必要な事項は、中央図書館長が別に定める。

この要項は、平成24年11月5日から施行する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）

目標	指標
レファレンスサービスの充実による市民の課題解決の支援	レファレンス受付件数
市民の課題解決に役立てられる資料の提供	知識の獲得に対する図書館資料の貢献度 課題解決に対する図書館資料の貢献度 新しいチャレンジに対する図書館資料の貢献度 個人的な楽しみに対する図書館資料の貢献度
図書館利用に障害のある方への支援	バリアフリー資料の所蔵数
専門的職員の養成による図書館サービスの質の向上	図書館専門研修の実施・派遣回数
図書館評価と市民意識の反映	利用者満足度
市民の多様な要求にこたえる資料の充実	蔵書新鮮度
情報発信による図書館利用の促進	貸出総数
講座等の催しと市民の交流の場の提供	講座等の満足度
資料の紹介による本との出会いの創出	テーマ資料展示の実施回数
安全で快適な環境の整備	防災・消防訓練の実施回数
子どもの世界をひろげる資料の紹介	子ども向けブックリストの作成数
子どもが本に親しむ機会の提供	おはなし会の開催回数
家庭・学校等との連携による子どもの読書活動への支援	読書が好きな子どもの割合（小学生） 読書が好きな子どもの割合（中学生） 読書が好きな子どもの割合（高校生）
地域の歴史と文化の保存	地域・行政資料の蔵書数
市民との協働による地域交流の活性化と持続的な交流の場の提供	ボランティアとの協働事業数
市の各部署との連携による市民生活の向上	さいたま市との連携部署数
県・他自治体・民間等との連携による市民の知的活動への支援	さいたま市以外の自治体及びNPO等民間との連携機関数

別表第2（第5条関係）

目標別評価	評価基準	目標達成率
A	目標値を達成できた	目標値の100%以上
B	目標値をほぼ達成できた	目標値の80%以上100%未満
C	目標値をあまり達成できなかった	目標値の50%以上80%未満
D	目標値を達成できなかった	目標値の50%未満

令和5年度 図書館評価結果（令和4年度事業対象）

基本的方向性 1	評価	評価別数	割合
知りたいに こたえる	A	3	60.0%
	B	1	20.0%
	C	1	20.0%
	D	0	0.0%
	合計	5	100.0%

基本的方向性 2	評価	評価別数	割合
本と人をつなげる	A	2	40.0%
	B	2	40.0%
	C	1	20.0%
	D	0	0.0%
	合計	5	100.0%

基本的方向性 3	評価	評価別数	割合
子どもの豊かな心と生きる 力をはぐくむ	A	1	33.3%
	B	2	66.7%
	C	0	0.0%
	D	0	0.0%
	合計	3	100.0%

基本的方向性 4	評価	評価別数	割合
つながりから地域の未来 をひらく	A	2	50.0%
	B	1	25.0%
	C	1	25.0%
	D	0	0.0%
	合計	4	100.0%

	評価	評価別数	割合
全目標	A	8	47.1%
	B	6	35.3%
	C	3	17.6%
	D	0	0.0%
	合計	17	100.0%